

食品新技術研究会 第27回例会

サステナブルな社会の実現を目指して～企業の取り組み事例

主催：一般社団法人 日本食品工学会 インダストリー委員会

昨今、世界的に持続可能性を考慮した事業活動は増々重要となっており、CO2の削減は勿論のこと、循環型社会の構築に向けても、様々な分野で新たな技術開発や仕組みの工夫が行われています。

今回はサステナブルな社会の実現を目指して企業が取り組んでいる事例について、バイオマス資源から環境に優しいプラスチック資源を作り出す株式会社バイオマスレジ南魚沼と、グループで様々なサステナビリティに取り組むキューピー株式会社の2企業からご紹介頂きます。ご講演を聴講された皆様が、地球の未来を見据えた大きな課題に取り組んでいくための多くの示唆が得られるものと期待しています。

なお、本研究会はインダストリー委員会に属しますが、食品工学会会員の皆様にも広く公開しています。多くの方々のご参加をお待ちしております（参加無料、要参加登録）。

○日時：2023年12月5日（火） 15時～18時

○場所：東京大学 先端科学技術センター3号館中二階セミナー室

<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/access.html>

○参加費：日本食品工学会会員（維持会員、団体会員も含む）無料

○参加登録方法：食品新技術研究会第27回例会幹事 喜田宛

11/24(金)までに naotaka.kida@tablemark.co.jp宛にメールでお申込み下さい。

※ お申込みの際は、タイトルを“新技術研究会申込み”として、お名前、ご所属、会員番号と、交流会への参加有無について記載下さい。

○プログラム：

1. 非食用のお米を活用した国産バイオマスプラスチック「ライスレジ」の挑戦

（株式会社バイオマスレジ南魚沼 社長執行役員

株式会社バイオマスレジ HD 執行役員）

奥田 真司

2. キューピーグループのサステナビリティへの取り組み

～食品ロス低減・新しい価値への変換及びアップサイクルの具体事例と課題～

（キューピー株式会社 生産本部 環境対応推進プロジェクト 環境対応推進チーム

（兼）経営推進本部 サステナビリティ推進部 環境チーム）

松原 由紀

（キューピー株式会社 研究開発本部 技術ソリューション研究所

機能素材研究部 野菜価値研究チーム）

萩原雄真

3. 交流会（会場にて）

以上